



インマヌエル中目黒キリスト教会

2008年11月2日

聖日礼拝

メッセージ

屠り場に引かれて行く小羊

イザヤ書53章7節 - 12節

竿代 照夫 牧師

聖書朗読

旧約聖書

イザヤ書53章7節 - 12節

7 彼は痛めつけられた。

彼は苦しんだが、口を開かない。

ほふり場に引かれて行く

小羊のように、

毛を刈る者の前で黙っている

雌羊のように、

彼は口を開かない。

8 しいたげと、さばきによって、
彼は取り去られた。
彼の時代の者で、
だれが思ったことだろう。
彼がわたしの民のそむきの罪の
ために打たれ、
生ける者の地から
絶たれたことを。

9 彼の墓は悪者どもとともに
設けられ、
彼は富む者とともに葬られた。
彼は暴虐を行なわず、
その口に欺きはなかったが。

10 しかし、

彼を砕いて、痛めることは
主のみこころであった。

もし彼が、自分のいのちを
罪過のためのいけにえと
するなら、

彼は末長く、

子孫を見ることができ、

主のみこころは彼によって
成し遂げられる。

11 彼は、自分のいのちの
激しい苦しみのあとを見て、
満足する。
わたしの正しいしもべは、
その知識によって多くの人を
義とし、
彼らの咎を彼がになう。

12 それゆえ、わたしは、
多くの人々を彼に分け与え、
彼は強者たちを
分捕り物としてわかちとる。
彼が自分のいのちを死に
明け渡し、
そむいた人たちとともに
数えられたからである。

彼は多くの人々の罪を負い、
そむいた人たちのために
とりなしをする。

説教

イザヤのメッセージ (38)

「屠り場に引かれて行く小羊」

イザヤ書**53**章**7**節—**12**節

竿代 照夫 牧師

主テキスト：

「ほふり場に引かれて行く
小羊のように、
毛を刈る者の前で黙っている
雌羊のように、
彼は口を開かない。」

(イザヤ53:7)

始めに

第四「しもべの歌」

(イザヤ**52:13**—**53:12**):

苦難を通して救いを全うする

・前半(イザヤ**52:13**—**53:6**):

苦しみの外観

・後半 (7—12節) :

苦しみの内観

A. しもべの従順と忍耐(7 - 9節)

1. 忍従(7節)

- ・ 「痛めつけられ」：
自発的に苦難を受容
- ・ 「小羊と雌羊」：
生贖の動物のように
(エレミヤ11:19)
- ・ 「口を開かない」：
目的をもつての沈黙
(マタイ26:62-63、27:11-14)

2. 人々の無理解(8節)

- 「しいたげと、
さばきによって」
：不法な裁判による死
- 「民のそむきの罪のために」
：身代わりの死
- 「だれが思ったことだろう」
：人々の無理解

3. 葬り(9節)

- ・ 「彼の墓は悪者どもと
ともに」
： 逆転の預言

B. しもべの勝利(10—12節)

1. 復活の栄光 (10節)

- 「痛めることは
主のみこころ」
：主のご計画としての贖い
- 「彼は末長く」
：復活の保証

2. 魂の満足（11節）

- ・ 「彼は・・・満足する」
： 労苦の結果に満足

3. 大きな報酬(12節)

- 「強者たちを分捕り物
として」
：戦利品の取得
- 「自分のいのちを死に
明け渡し」
：注ぎだす奉仕(ピリピ²:17)
- 「そむいた人たちとともに
数えられ」
：罪人との同化

終わりに

不当な迫害や攻撃にぶつかる時、
静かな心を持って耐えよう

(1ペテロ2:18—24)